



あいさつ・交通安全・福祉をテーマにした比角地区の福祉教育カルタ

地域の標語に二中生が絵

市内比角地区であいさつ・交通安全・福祉をテーマにした福祉教育カルタが出来上がった。地域に呼び掛けて募集した文字札に、二中美術部の生徒がイラストを描いたもので、同地区的心をつなぐ居場所づくり応援団「よろんごの木」(吉田建夫代表)が製作した。

このほど地区コミセンで行われた冬まつりで初めてお披露目され、にぎやかに楽しんだ。

同地区コミセンでは、毎年あいさつ運動を実施し、小・中学生、地域からたくさんの方々が寄せられる。福教育カルタはこれらの標語を活用し、子どもたちや高齢者の笑顔のために、自分自身で学び気つくツールとして製作した。比角元(内山清委員長)が主管し、県民たすけあい募金の補助

あいさつ・交通安全などテーマに 比角で福祉教育力ルタ 「よろんごの木」が製作

発行所 柏崎日報社
柏崎市西本町1丁目6-
〒945-0066 電話22-312
専売所 柏洋社 電話22-344
1部100円 1カ月2,650円



大判カルタで遊んだ冬まつり=比角コミセン

標語の応募総数は約1150点。その中から文字札を選んだ。あいさつでは、「り=立派だね」自分からのあいさつ「元気よく」、

交通安では「も=もう一度」交通弱者にやさしさを、「福祉では「い=いつも」このボケットにもつていて、思いやり」などがある。

イラストは、地区的ストリートフェスティバルでも自作の紙芝居を上演してい

大変だったのは、いろいろな人に伝わり、分かりやすい絵を描くことだった。この活動を通して、改めて地域貢献の大切さを学ぶことが得た。

カルタは全部で300部を製作し、大勢で遊ぶための大判も1組作った。吉田代表は「普通のカルタとじて楽しく遊びながら、言葉と絵からさまざまな会話ができる」と評価する。部員の仲もより深まり、大変良い活動をすることができた」と振り返った。

大判カルタは、部員の仲もより深まり、大変良い活動をすることができた」と振り返った。

大判カルタは、部員の仲もより深まり、大変良い活動をすることができた」と振り返った。

